



## “甲子園の土”は普通の土じゃない？ あの土についてくわしく解説！

今年も8月7日から全国高等学校野球選手権大会が開幕します。高校球児たちの17日間の熱い戦いが楽しみですよ。その舞台となるのが、阪神タイガースの本拠地としても知られる“阪神甲子園球場”です。

高校野球では、球児たちが記念に土を持ち帰る様子をよく目にします。中には、広島県の広陵高校のように「土を持ち帰らないのが伝統」というチームもあるものの、試合の度に持って帰ってしまったら、なくなってしまうのでは？…と少し心配になります。甲子園球場を整備する阪神園芸株式会社によって補充されるため、いつでもベストコンディションで試合に臨めるのです。



甲子園の土は黒土と砂を混ぜて作っているのですが、春大会と夏大会で“ブレンド”が違うことでも知られています。雨の多い春は砂を多めに、太陽光が強い夏はポールを見やすいように黒土を多めに、という工夫がされているようです。両大会に参加して土を持ち帰った選手たちは、その色の違いに気付けるはずですよ。

黒土の産地はいくつかあり、岡山県日本原、鹿児島県鹿屋、大分県大野郡三重町、鳥取県大山、そして我が三重県鈴鹿市などの土をブレンドしています。砂の産地は、京都府城陽です。

甲子園球場では、昼間に雨が降っていても、ナイターの時間は整っていたり、突然の雨で野球が休止になっても、スムーズに再開できたり、という様子がたびたび目撃されています。これは、グラウンドの砂や土にこだわり、屋根がない球場でも水はけの良い状態をキープしているからです。その裏には、先ほども触れた阪神園芸株式会社の企業努力があり、野球ファンの間では神整備とも呼ばれています。

オフシーズンの冬場には土を25cm掘り起こして、その後、1ヶ月半かけてゆっくり固めるなど、最良のコンディションになるように配慮されています。土の水分量やその日の天気、季節によって状態がかわるため、その日のベストを目指して最良の状態に整える、職人技が光る仕事になっています。

球児でなくても気になる甲子園の土なので、一度個人向けに販売された過去があるようですが、注文が殺到したため、すぐに終了してしまいました。その後、甲子園球場開場100周年記念として無料配布された例もありますが、現在は残念ながら販売されていません。

## Microsoft Edge で画像編集もできます

Microsoft Edge はブラウザとしての機能のみならず、画像編集ツールとしても使えることをご存じですか？ この機能を使えば、“Web ページ”の画像をダウンロードしてから画像編集ソフトで“加工する”という手順を踏まなくとも、“Web 上で直接編集する”ことができるんです。

Web 画像の上で右クリックして表示されたメニューから【画像の編集】を選択すると、別ウインドウ（右図）が開きます。上部のツールバーで編集する内容を選んでください。主な機能は次の通りです。



- ① トリミング…切り抜き・回転・反転
- ② 調整…ライティングの補正6項目・色の補正3項目
- ③ フィルター…15種類
- ④ マークアップ…ペンやマーカーによる線の描き込み

編集した画像は、保存もしくはクリップボードにコピーすることができますが、画像の利用については著作権などにご注意ください。

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など  
デザイン制作・印刷 お任せ下さい！！

★ホームページ制作お任せ下さい！！  
オリジナルデザインで更新しやすいホームページを！  
今あるホームページの編集作業もお任せ！！

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル  
ご相談下さい！

◎ パソコン教室 無料体験実施中！

マデコムのFacebook への いいね！お待ちしております

# 株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1  
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877  
E-Mail : office@madecom.co.jp  
URL : https://www.madecom.co.jp  
発行 : 2024年8月1日  
編集・作成 : 早川尚孝

